



## ラムサール条約について

ラムサール条約は、1971年にイランで採択された、湿地に関する条約です。国際的に重要な湿地についてはラムサール条約湿地として登録され、滋賀県では琵琶湖が登録されています。また、平成20(2008)年には近江八幡市内にある西の湖が、ラムサール条約登録湿地に拡大登録されています。

湿地では様々な生物が命を育てており、特に水鳥の生息地として非常に重要な場です。また、湿地は炭素を吸収、貯留するなど気候変動対策としても重要な役割を果たしています。

毎年2月2日の世界湿地の日に合わせて、さまざまなイベント等が開催されています。機会があれば参加してみてください！

## 「びわ湖水鳥観察会」開催のご案内(3/5実施)

世界湿地の日に合わせて実施されている「びわ湖水鳥観察会」に続く観察会を実施します。みんなで一緒に宮ヶ浜のほとりを歩きながら、水鳥を観察しませんか？

主催：チームむべなるかな 場所：休暇村近江八幡西館玄関前

日時：令和4年3月5日(土)

持ち物：動きやすい格好でお越しください。

お持ちの方は双眼鏡をお持ちください。

備考：どなたでも参加できます。

(小学生以下は保護者同伴でお願いします。)申し込み不要。

問い合わせ先：山口 龍二さん(0748-36-7301)

おうみはちまん  
エコ通信

冬号

## Let's ゼロドラ！

### 「あなたのドライブから脱炭素の未来へ」

私たちが排出するCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)のうち、12%が家庭由来の自動車の移動によるものと言われています。環境省では、脱炭素への取り組みとして「ゼロカーボン30」を推奨し、その一つに「ゼロカーボンドライブ」が挙げられています。

＜ゼロカーボン ドライブ(ゼロドラ)とは？＞

太陽光や風力などの再生可能エネルギーを使って発電した電力(再エネ電力)と電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド(PHEV)、燃料電池自動車(FCV)を活用した、走行時のCO<sub>2</sub>排出量がゼロのドライブのことです。

＜ゼロカーボン ドライブのメリット＞

- ・電気料金はガソリン、軽油のような大きな価格変動がないうえ安いため、ガソリン代のコスト削減が見込める。
- ・災害時などの電源としての活用が可能。

詳しい情報等については、環境省HPをご参照ください。[https://www.env.go.jp/air/zero\\_carbon\\_drive/](https://www.env.go.jp/air/zero_carbon_drive/)



ゼロカーボン ドライブ  
ロゴマーク